

民間に呼応し

国会でも論議

十一月三日は、もともと明治天皇の〈天長節〉であり、昭和に入ってからは〈明治節〉と呼ばれる祝日だった。敗戦後の占領下に〈文化の日〉と改められてから六十有余年。五年ほど前からもともとの由来に基づく〈明治の日〉に改称しようと、うとう国民運動が進められている。

そうした民間の動きを受け、国会でも〈明治の日〉に関する議論が始まった。去る四月十日の衆議院予算委員会で質問に立つた田沼隆志議員は、「過去から連綿と受け継がれ

てきた日本の歴史と伝統による祝日をじぶつに祝う日にしていただきたく怪しいとして定着の度合いが分かるデータはないかと問い合わせた。祝日法によれば〈文化の日〉の問題点について取り上げた。は存在しないものの宮中は文化の日が制定されない」と述べた上で、「文化の日」との問題点について取り上げた。は文化勲章の親授式が行なわれていることなどを踏まえて取り上げた。奪われた国民の祝日を取り戻す

た、「文化の日」の趣旨で、首尾一貫という意味をすすめられてから六十有余年。五年ほど前からもともとの由来に基づく〈明治の日〉に改称しようとするが、「文化化をする」とは如何な

## 【文化の日】を「明治の日」に議連結成へ実現に大きな一步

明治の日推進協議会実行委員  
関西「明治の日」推進協議会事務局長

金子 宗徳

五月十七日に

地方議会にも

働きかけ広範な

国民運動に

は衆議院第二議員会館で自民・

民主・維新・みんなの各党から衆参合わせて計

十六名の国会議員が国民有志の

で、地方議会などにおいて、地方議会などにおいて、

前で自らの思いを披瀝す

ても「明治の日」制定に

向けての機運を高めて参

りたい。読者各位の御理

解および御協力を願う次

第である。(かねこ・む

月二十二日の衆議院内閣委員会において、中丸啓

ねのり 38歳 京都府)

までの「引き続き、国民の間で文化の日の制定の趣旨等が理解されるよう努めてまいりたい」との前で、「日本を取り戻す」とは「奪われた国民の必要性がどうにでもとれるよういう参考人答弁を引き出す」とは「奪われた国民の祝日を回復すること」が認知された。また五月十日の衆議員が菅官房長官の見解